

2025 年9月8日

株式会社スコープ、サステナビリティページを一新 新たに3つのマテリアリティを発表。

株式会社スコープ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:横山繁、以下「スコープ」)は、パーパス経営に基づくサステナビリティへの取り組みをさらに推進するため、サステナビリティページを一新。社会課題に取り組む3つのマテリアリティ(重要課題)を発表しました。

社会課題に取り組むことで「社会価値」と「経済価値」を同時に生み出す「価値創造モデル」を掲げ、未来に向けたさらなる成長を目指します。

<https://www.scope-inc.co.jp/sustainability/>

【私たちが未来へ向けて取り組む3つのマテリアリティ(重要課題)】



廃棄物を減らし
資源が巡る未来へ

買い物のよろこびを発想・実現する会社として。私たちは生活者のサステナブル意識の変容を促すとともに、食品ロス、ノバルティや包装など購買行動・販促に紐づく廃棄物を減らし、資源として循環させ続けるための努力を惜しまない。そして脱炭素社会の実現に貢献し、気候変動や生物多様性への対応を進めていく。



誰もがワクワク暮らせる
地域を日本中に

社会課題の発見と解決を担う集団として。私たちはその地域の風土や住む人に刻まれている“見える魅力”や“新たな可能性”を見つけ、共に育てていく。そして、その地域にしかない価値を、世の中の潜在的なニーズとつなぐことで、人が集い、モノが動き、お金が回る、持続可能な地域コミュニティを日本中につくっていく。

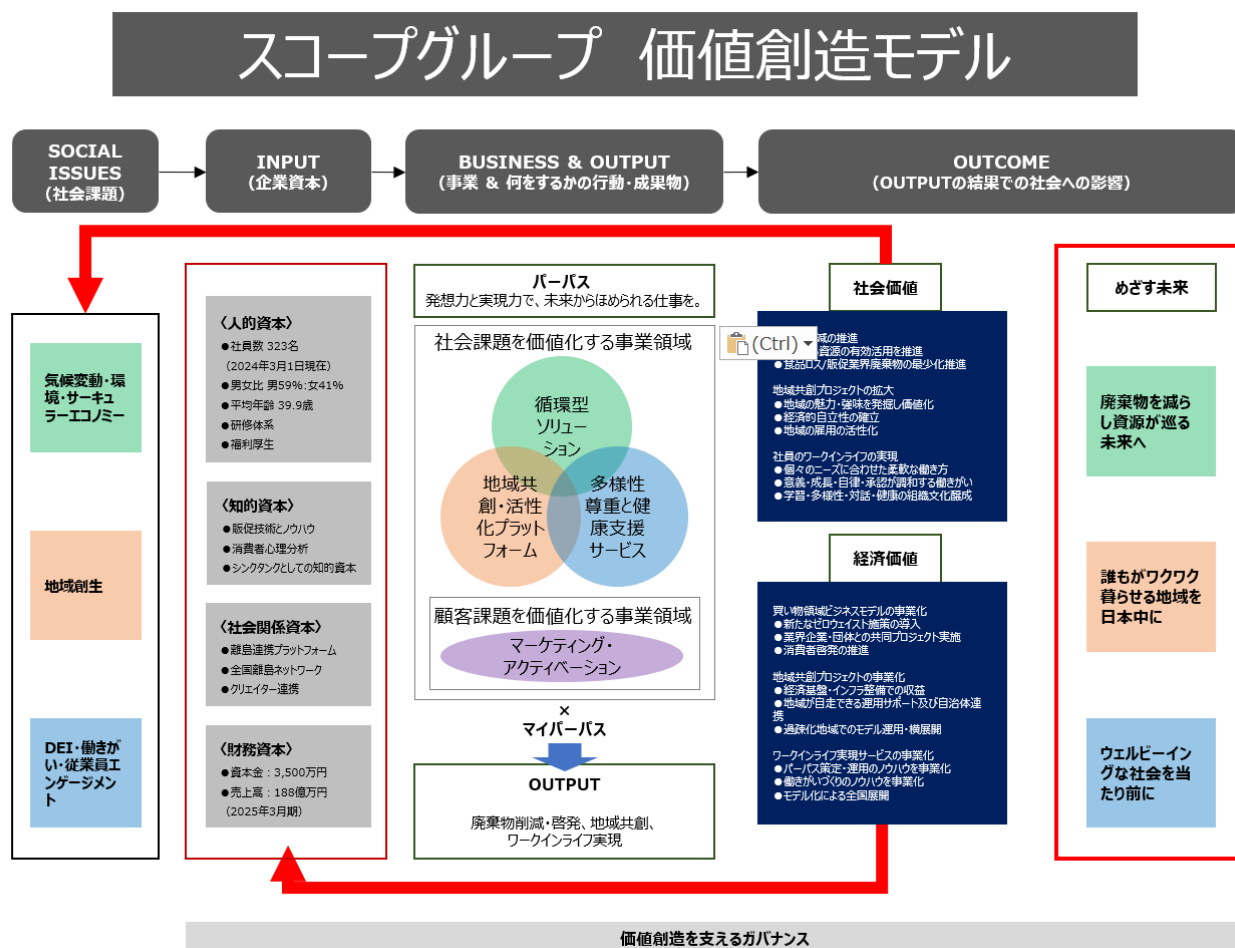


ウェルビーイングな社会を
当たり前

ほかの誰とも違う一人の人間として。私たちは人種や国籍、宗教、性別、性自認、年齢、外見、障がいなどへのハラスメントや無自覚な差別など、いかなる人権侵害を容認しない。多様な個を尊重し、一人ひとりが潜在能力を最大限に発揮できる 学び方・働き方・生き方を応援し、それをまっとうできる環境を社会全体に広げていく

【価値創造モデル】

スコープグループは、マテリアリティ実現に向け、社会課題に取り組むことで「社会価値」を創出すると同時に「経済価値」も生み出し、その経済価値を企業資本に再投資して、2つの価値を循環的に増幅させる仕組み、スコープグループ「価値創造モデル」を掲げています。



【サステナビリティ方針】

私たちが取り組むサステナビリティ重点8項目は、「発想力」と「実現力」を最大限発揮し、地域・企業・モノ・ヒトの見えざる価値を見つけ、磨き、つなげ、新たな価値を創造することを目指す土台となります。以下に掲げたサステナビリティ重点8項目に従って、行動計画を立案し企業として求められる責任を果たしていきます。

1. コーポレートガバナンス
2. 人権・労働
3. 環境
4. 公正な企業活動
5. 品質・安全性
6. 情報セキュリティ
7. サプライチェーン
8. 地域社会

スコープグループは、パーパス「発想力と実現力で未来からほめられる仕事を」の推進に向け、サステナビリティ方針を掲げ、「マテリアリティ」を実現していくことで、「未来からほめられる仕事」を当社のステークホルダーの方々に提供してまいります。

【株式会社スコープ】

代表取締役社長:横山 繁

設立:1989 年 4 月 1 日

所在地:東京都千代田区富士見 2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム 28 階

事業内容:総合企画事業

企業サイト:<https://www.scope-inc.co.jp/>

メールアドレス:koho@scope-inc.co.jp